

令和元年度 金沢大学附属小学校学校自己評価結果

| | | | |
|---|--|----|--|
| 学 校 目 標 本校の特殊性と児童の実態に即し、変化する社会を生き抜く力と、豊かな社会の形成者としての資質の基礎を育成する ◇共に学ぶ生涯学習の基盤をつくる（智） ◇豊かな人間性を醸成する（徳） ◇たくましく生きる心や体を育てる（体） | | | |
| 目指す児童像 ○進んで学ぶ子ども ○やりとおす子ども ○みんなのことを考える子ども | | | |
| 項目 | 令和元年度 評価観点 | 評価 | 今後に向けての改善策 |
| ①組織の活性化 | 1 各主任、教職員一人一人が、学校運営に関わっているという意識を持ち、校務分掌に取り組んでいる。 | A | |
| | 2 学年は、学年主任を中心に学年の共通理解を図り、学級経営案に基づき学級経営に取り組んでいる。 | A | |
| | 3 学級担任及び各部の担当は、適切、迅速な「報告・連絡・相談」に心がけている。 | A | |
| | 4 児童理解及び支援を要する児童に関して、学校全体で支援する体制を進めている。 | A | 情報の共有（同学年、他学年間）、特別支援教育校内委員会の定期開催、児童理解の会、教育相談体制の充実、スクールカウンセラーの活用 |
| | 5 生徒指導上の問題で、生徒指導主事への連絡を確実にしながら、全職員目目で育てている。 | B | 生徒指導主事を中心とした体制づくり 全職員への周知徹底 未然防止に向けた生徒指導の推進 |
| ②授業の充実・指導力の向上・家庭や地域との連携 | 6 学習規律の定着を図るため、学年で互いに検討をしながら共通実践をしている。 | B | 学年での決まりを級外でもできるよう連携の強化 学校全体で学習規律をそろえるところを確認、徹底する |
| | 7 子ども達が、休み時間に次の授業の準備をするように指導している。 | B | |
| | 8 学校研究に基づいて、『考える子を育てる』ための授業実践をしている。 | B | |
| | 9 アクティブラーニングを意識した主体的・協働的な学習に取り組んでいる。 | B | 学校全体で、次期学習指導要領等についての理解を深め、授業において具体化する |
| | 10 子ども一人一人の学力や学習状況を把握し、個に応じた指導を進めるために、授業の改善・充実を図っている。 | B | 児童の学習状況を把握するための評価と指導の仕組みづくり |
| | 11 児童が意欲をもって取り組むような学習課題作りをしている。 | B | |
| | 12 家庭学習の定着のために家庭の協力を求めながら進めている。 | B | |
| | 13 保護者からの話に丁寧に耳を傾け、迅速丁寧な対応に心がけている。 | A | |
| | 14 子どもたちは、「あのね」「あしあと」「あゆみ」をしっかりと書いている。 | B | |
| | 15 「あのね」「あしあと」「あゆみ」にしっかりとコメントを書いて返している。 | B | |
| | 16 自己の反省と改善に役立てていけるように、週案の活用を進め定期的に管理職に提出している。 | A | |
| | 17 児童の作品や掲示物・ノート等に目を通し、コメントを書いている。 | B | |
| | 18 地域の素材や人材を活用し、体験的な学習を組み立て、探求心や実践的な行動力を伸ばしている。 | B | 総合的な学習の時間等で、学校の歴史や伝統を生かした授業を行い、愛校心を育てることが必要である。 |
| | 19 子ども達は、話し方、聴き方のスキルを意識し、自分の思いや考えを、相手に分かりやすく表現する力がついてきている。 | B | 教師が聴き方についての指導を磨く必要がある |
| ③生徒指導の充実 | 20 子どもたちに、あいさつ・バスマナー・生活のきまり（廊下の歩行、時間、服装、持ち物など）を継続的に指導している。 | A | |
| | 21 子どもたちは、あいさつができています。 | B | 職員が一丸となって取り組む心を育てる取り組みが必要 |
| | 22 子どもたちは、バスマナーを守っている。 | C | 生徒指導部による乗車指導 実態の把握、実態に応じた対応 育友会の保護者通学指導を通じた状況の周知 児童企画プロジェクトによる「ありがとう広げ隊」の活動 |
| | 23 子どもたちは、生活のきまり（廊下の歩行、時間、服装、持ち物など）を守っている。 | B | 全職員による共通指導の徹底 毎月クラスで振り返りを行う 意図的にプラスの声かけ 全校集会等での継続指導 個別指導を継続する |

| | | | | |
|---|----|--|---|---|
| ④ 体力向上の取組 | 24 | 学校全体で体力向上の取組を行っている。(なわとび・マラソン等) | A | |
| | 25 | クラスで運動ファイル(運動カード)を活用している。 | B | 活用方法について共通理解(具体例の提示)マラソン・縄跳び運動などで活用する |
| | 26 | 子どもたちは、体力を向上させようと意欲的に取り組んでいる。 | B | 年間を通じた体力向上の取組 学期ごとに設定した運動テーマへの取組 |
| ⑤ 読書教育 | 27 | 子どもたちに読書の楽しさや大切さを指導している。 | B | 国語の時間の活用 まずは本を大切に扱う指導を |
| | 28 | 子どもたちは、様々な本に対して興味を持ち、進んで読書をする姿が多く見られる。 | A | 子ども図書館等の利用 |
| ⑥ 校 園 間 の 連 携 | 29 | 子どもたちが力をつけるために、幼小間で連携・協力をしている。 | B | |
| | 30 | 子どもたちが力をつけるために、小中学校間で連携・協力をしている。 | C | 連携委員会の設置と定期的な情報交換 相互授業参観 9年間で統一した指導ができるよう小中で確認する。 児童会・生徒会連携による合同の取組 |
| | 31 | 小中学校間の教職員が学び合い、指導法の工夫・改善や児童理解の深まりが見られる。 | B | 中学校との連携により教科の専門性を高める 相互授業参観 幼・小・中・高で年ごとに授業参観を行う |
| | 32 | 学習規律について小中学校間で共通理解・実践している | C | 学校園の生徒指導担当者会議の充実 小中で共通実践できることを行う 実践していることについての提案をする |
| ⑥ 道 徳 教 育 | 33 | 道徳の授業の充実を図り、豊かな人間性を育むとともに、実践力を育てようとしている。 | B | |
| | 34 | 道徳の授業を中心とした「心の教育」を積極的に行っている。 | B | |
| ⑦ 学 級 経 営 の 充 実 | 35 | 子どもたちとの触れあいや学び合いを工夫し、めざす学級像に近づくように努力している。 | B | |
| | 36 | 学習の流れや足跡がわかるような掲示物に心がけ、教室内外が整理整頓されている。 | B | 学習履歴の掲示を推進する 児童の知的好奇心を刺激する校内掲示の充実 |
| | 37 | 子どもがそれぞれのよさを見出し、何でも話し合える和やかな温かい学級作りをめざしている。 | A | |
| ⑧ 適 切 な 教 育 課 程 の 実 施 | 38 | 学習指導要領、附属カリキュラム等に基づいた教育課程の実践を進めている。 | A | |
| | 39 | 個に応じた繰り返し指導や補充的・発展的な学習を加えたきめ細かな指導を進めている。 | B | |
| | 40 | 学習の進度について計画的に実施し、学年間で時数の確認を行っている。 | A | 週ごと、月ごとに学年で確認し、必要に応じて調整を行う。 |
| ⑨ 開 か れ た 学 校 | 41 | 学年、学級だよりを配布し、教育方針や考え方、学習・生活の様子を伝え、理解、協力を得るようにしている。 | B | |
| | 42 | ホームページを活用して学年・学級の様子を伝えている。 | B | 学校の日々の様子を随時アップロードしており、昨年度より、HPの更新頻度は高くなっている。より一層充実するように努める。 |